



Q 鳥取県中部を震源とする地震が、道路や河川、水の被災者に頼まれて復旧工事をしています。



工事量が多くて作業中の事故が心配です。事故防止のために、どんな点に気をつけなければいいか教えてください。

A 地震の被害は家屋の瓦崩落が

災害復旧工事の安全作業のために

瓦の改修工事は高所での作業が中心となるため、屋根から転落する危険を伴います。また、がれきの処理で、くぎの踏み抜きや切り傷の危険を伴うほか、作業者が粉じんにさらされることも考えられます。復旧工事は、このような危険を伴ったため、災害防止対策を徹底することが求められます。

鳥取労働局では復旧工事で、高所からの転落を防止するには、安全作業するための作業を安全に実施する必要があります。作業床を設けることが原則です。設けることが困難な時には、安全帯を確実に使用してください。

また、屋根の昇降時に移動はしごを用いる場合には、はしごの上端を60センチ以上出し、上部・脚部をしっかり固定してください。

くぎの踏み抜きを防止するためには、防止用のインソール(靴の中敷き)が有効です。粉じんが発生する場合には防じんマスクの装着が求められます。